

授業科目	情報処理論Ⅲ			担当教員	宮崎省三
				実務経験	無
授業形態	演習	単位数	1単位	開講時期	3学年前期(20時間)
経歴・役職	学校法人九州文化学園 法人事務局 財務課 課長、2008年より当科目を担当 有資格:Microsoft Office Specialist Master 2003 [Excel Expert、Word Expert、PowerPoint、Access]、ITパスポート				
授 業 目 標					
表計算ソフトの基本的な使い方から、応用まで表計算ソフトを利用して実践的に学んでいく。歯科衛生士として、顧客データの整理や他の人に見やすい資料作成ができるなど、職場内での日常業務が遂行できるようになる。					
成 績 評 価 の 方 法					
・試験課題は、最終授業日に行い、出題されたデータを基にその特徴を把握し、指示に対する適切な処理方法の選択やその技術等の能力を総合的に判断するために実施し、評価する。					
教科書と参考文献					
参考書： 各回毎にプリントを配布する。					
履 修 上 の 注 意					
各回毎にステップアップしていき、その操作方法を習得していくといった流れで展開するため出席し、その操作方法をしっかりと理解すること。1週間の間隔を埋めるべく、適時復習を実施。わからないことはその場で解決していくこと。					
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要				
1	Excelの活用(1)	Excelの起動と終了、データ入力の基礎、ファイルの保存			
2	Excelの活用(2)	表を見やすくするための機能① 関数Ⅰ(合計、平均、全角・半角) 効率的な操作の修得① 文字の置換え、文字列の結合			
3	Excelの活用(3)	表を見やすくするための機能② 罫線と網掛け、表示形式の利用 配置・インデントの活用			
4	Excelの活用(4)	効率的な操作の修得② 日付の表示形式、データの検索 データの並び替え、集計、ピボットテーブルの利用			
5	Excelの活用(5)	効率的な操作の修得③ ユーザー設定リストの設定 関数Ⅱ(順位)、相対参照と絶対参照			
6	Excelの活用(6)	データの分析 関数Ⅲ(IF、AND、OR)			
7	Excelの活用(7)	効率的な操作の修得④ 条件付き書式、入力規制、リストの適応 ドロップダウンリストの適応			
8	Excelの活用(8)	効率的な操作の修得⑤ 複数のワークシートの連携 関数Ⅳ(LOOKUP) 日付の概念、時間の計算 関数Ⅴ(DATE、DATEDIF)			
9	Excelの活用(9)	効率的な操作の修得⑥ ショットカットキーの活用、印刷の基礎・応用 図の活用(Print Screen、トリミング、貼り付け)			
10	Excelのまとめとテスト				

授業科目	歯科予防処置Ⅲ			担当教員	日高聖・伊藤李香・木下莉沙子・白倉佳奈・山口夏海・小宮真衣
				実務経験	有
授業形態	講義・実習	単位数	1単位	開講時期	3学年前・後期(40時間)
	日高 聖	長崎大学大学院・小児歯科学・助教(2007年より),小児歯科専門医(2010年取得),障害者歯科学会認定医(2010年取得) ・長崎大学病院にて歯科医師として勤務、年間のべ患者数:1200名以上。 歯学部学生(講義・実習、臨床実習)および歯科研修医に対する小児歯科学の指導(医療) ・小児歯科学会専門医指導医、障害者歯科学会認定医、口蓋裂学会認定師 ・全身麻酔下歯科治療の執刀:200例以上(医療) ・口唇裂・口蓋裂をもつ新生児の治療:150例以上(医療) ・佐世保市保健センター、佐世保市子ども発達センターでの障害児に対する歯科健診および口腔衛生指導(福祉)上記の経験を活かして本講義にあたる。			
	伊藤李香	2020 長崎大学歯薬学総合研究科 ・大学病院にて小児歯科医として勤務。臨床経験をもとにう蝕予防処置論について講義を行う。			
	木下莉沙子	2021 長崎大学歯薬学総合研究科 医療専攻 ・大学病院にて小児歯科医として勤務。患者への歯科予防処置の経験をもとに講義を行う。			
	白倉佳奈	2023 長崎大学病院 小児歯科 医員(パート)病院にて歯科医師として勤務。臨床経験も活かしながら講義を行う。			
	山口 夏海	専任教員 一般歯科で、歯科衛生士業務に従事。その後、本校の専任教員として勤務。			
	小宮 真	歯科衛生士としての勤務経験を活かし講義にあたる。			
授 業 目 標					
歯周治療を目的とした、検査や治療、ブラッシング指導、更に口腔内だけに留まらず生活習慣においての患者指導ができることを目指す。歯科衛生士としてのスキルアップを図ることを目標とする。					
成 績 評 価 の 方 法					
定期試験60点以上で合格とする					
教科書と参考文献					
全国歯科衛生士教育協議会監修『歯科予防処置論・歯科保健指導論』/医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会監修『歯周病学 第2版』/医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会監修『保健生態学 第3版』/医歯薬出版 DHS歯学教育スクール歯科衛生士部監修 歯科衛生士 国試の麗人Ⅱ 直前まとめ編					
履 修 上 の 注 意					
常に患者への配慮を忘れず、患者の視点に合わせて治療や指導を行うこと。					
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要				
1	【齲蝕予防処置】 PTC、フッ化物塗布の相互実習				
2	小窩裂溝填塞(シーラント)相互実習				
3	フッ化物、小窩裂溝填塞(シーラント)についての総復習				
4	齲蝕活動性試験の総復習				
5	【歯科予防処置】 ・歯周検査、歯周治療の総復習				
6	・模擬患者実習(歯周治療の一連の流れを、身内の方の口腔内で2回実践) (歯科衛生過程の考え方と展開方法を踏まえた上で診査・P検と説明・口腔内写真・SC・PMTCを行い、2回目は1回目との比較を行う)				
7					
8					
9					
10					

授業科目	口腔保健管理			担当教員	田島沙織
				実務経験	有
授業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	3学年前・後期
役職	本学専任教員				
授 業 目 標					
歯科衛生士の立場から、口腔疾患を口腔のみの問題にとどめず、全身の健康問題の視点からとらえる。臨床の場、訪問の場において、口腔内情報・全身の問題点を把握し、個々の患者に適した口腔保健管理計画を作成し患者のライフステージに合った指導や業務記録作成ができるよう実践的な学習をする。					
成 績 評 価 の 方 法					
定期試験100%					
教科書と参考文献					
「歯科衛生ケアプロセス実践ガイド」医歯薬出版株式会社 佐藤陽子・齋藤淳 編著 やさしく学べるこれならわかる歯科衛生課程 クインテッセンス出版					
履 修 上 の 注 意					
歯科衛生過程の概要を理解する。またそれを理解した上で、現場に即した患者実習、さらに2つの症例を通して更に理解を深める。					
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要				
1	歯科衛生過程について ・歯科衛生過程の意味を理解する				
2	口腔保健管理の演習 ・患者の情報収集、問題点の抽出ができ、指導計画を立てることができる。 ・指導計画に基づき、経過記録の作成から評価までの一連の流れを理解する。				
3	症例1(模擬患者実習症例使用) ・MPS分類とその対策 ・業務記録作成(SOAP分類と指導内容)				
4	症例2(口腔ケア:要介護高齢者) ・患者の情報収集、問題点の抽出、指導計画を立てる。 ・業務記録作成(SOAP分類と指導内容)				

授業科目	歯科保健指導法Ⅲ			担当教員	田島沙織・村上
				実務経験	有
授業形態	講義・実習	単位数	1単位	開講時期	3学年前期・後期(40時間)
役職	専任教員 一般歯科で、歯科衛生士業務に従事。その後、本校の専任教員として勤務。 歯科衛生士としての勤務経験を活かし講義にあたる。				
授 業 目 標					
・個別・集団対象の指導案作成ができる。 ・口腔内環境改善を目的とした、口腔清掃指導ができる事を目指す。					
成 績 評 価 の 方 法					
定期試験60点以上を合格とする					
教科書と参考文献					
教科書…… 歯科衛生士シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論					
履修上の注意					
特になし					
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要				
1	・業務記録作成(症例)				
2	・模擬患者実習事前実習(患者アセスメントによる口腔清掃指導実習)				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

授業科目	歯科診療補助法Ⅲ			担当教員	向井千裕・小宮真衣
				実務経験	有
授業形態	講義・実習	単位数	1単位	開講時期	Ⅲ学年前期・後期(40時間)
経歴・役職	専任教員 一般歯科で、歯科衛生士業務に従事。その後、本校の専任教員として勤務。 歯科衛生士としての勤務経験を活かし講義にあたる。				
授 業 目 標					
口腔内写真撮影・暫間被覆冠作成の習得。臨床実習における技術や知識の不足分を補い歯科衛生士としての業務全般のスキルアップを図ることを目標とする。					
成 績 評 価 の 方 法					
定期試験により、6割以上を合格とする。					
教 科 者 と 参 考 文 献					
歯科衛生士シリーズ「歯科材料」医歯薬出版 歯科衛生士シリーズ「歯科機器」医歯薬出版 歯科衛生士シリーズ「歯科診療補助論」第2版医歯薬出版 歯科衛生士のための保存アシスタントブック 歯科衛生士のための補綴アシスタントブック					
履 修 上 の 注 意					
臨床実習における反省点を客観的に把握し、3年次の実習においてその技術向上に向けて努力すること。					
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要				
1	暫間被覆冠作成 ・既製冠を利用した方法 ・既製冠を利用しない方法				
2	口腔内写真撮影実習				
3	各種実習復習 ・一人バキューム ・寒天印象材・アルジネート印象材による連合印象採得(コア印象、Br印象) ・合着・仮着セメントの練和				
4	トレーセッティング復習 ・レジン充填の流れと器材の受け渡し ・インレー修復の流れと受け渡し ・抜髄、根管充填における器具の受け渡し ・各種外科手術の流れ及び器材の受け渡し				
5	レントゲン撮影について(フィルムの位置づけ・現像について)				

授業科目	隣接医学			担当教員	太田 信敬、神谷 治伸、吉永 拓生
				実務経験	有
授業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	3学年後期
経歴・役職	太田 信敬	医療法人敬信会 太田歯科診療所 理事長 :佐世保市歯科医師会地域福祉担当副委員長 ・歯科医院の院長として外来および訪問歯科診療を行っている。また、地域包括支援センター運営協議会の一員であり、地域包括支援センターとの連携を行っている。チームオレンジ(認知症対応)に所属している。			
	神谷 治伸	大学病院を経て現在歯科診療所に勤務。 ・外来診療ならびに訪問診療に従事しており、その臨床の経験をもとに隣接医学の講義を行う。			
	吉永 拓生	・大学卒業後、現病院で主として口腔外科をメインに外来診療にあたっている。口腔外科と全身管理の指導にあたる。			
授 業 目 標					
超高齢化社会を迎え、有病高齢者、要介護高齢者は増加した一方で、障害者の歯科治療についても1次医療のニーズは高まっている。しかしこれらのいわゆる有病者の歯科治療においては、通常の歯科的治療だけにとどまらず、口腔機能を維持するための取り組みが求められる。本講義において、障害や全身疾患を持つ患者の対応について、歯科衛生士が果たすべき役割を理解する。					
成 績 評 価 の 方 法					
筆記試験					
教科書と参考文献					
超高齢社会のための専門的口腔ケア 要介護・有病者・周術期・認知症への対応 医歯薬出版					
履 修 上 の 注 意					
特になし					
No.	授 業 題 目 ・ 授 業 概 要				
1	口腔管理総論 小児・障害児の歯科診療システムの構築について 要介護者・終末期患者の口腔管理の意義				
2	障害児・者、妊産婦・新生児の口腔管理について 障害児・者の口腔管理 妊産婦、新生児の口腔管理				
3	成人有病者の口腔管理 脳血管障害、高次脳機能障害、リウマチの口腔管理 循環器疾患、喘息、腎疾患、糖尿病の口腔管理 精神疾患の口腔管理 がん患者の口腔管理 終末期患者の口腔管理				
4	要介護高齢者の口腔管理 要介護高齢者の口腔管理 口腔機能低下患者の評価法と訓練法 認知症患者の口腔管理				
5					

授業科目	隣接医学			担当教員	江頭 聡子
				実務経験	有
授業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	3学年前期
経歴・役職	平成9年長崎リハビリテーション学院卒業、平成11年言語聴覚士免許取得、平成9年から平成12年サン・レモリハビリ病院勤務、平成14年から三川内病院勤務、現在に至る・医療、介護、障害福祉において言語聴覚士として従事した経験をもとに講義を行う。				
授業目標					
言語聴覚士の職種を理解する、言語聴覚士と歯科衛生士との関係を学ぶ 言語聴覚士が行っている摂食機能療法を学ぶ 信頼関係の構築、コミュニケーションの基本を学ぶ					
成績評価の方法					
授業態度					
教科書と参考文献					
各回毎にプリント配布					
履修上の注意					
眠気あれば、一旦退室しリフレッシュしてから教室にもどること。 表情、発言、行動も見られていることを意識して、授業に取り組むこと。					
No.	授業題目・授業概要				
1	言語聴覚士の紹介DVD 言語聴覚士と歯科衛生士との連携について				
2	言語聴覚士が行っている摂食機能療法 信頼関係の構築、コミュニケーションの基本				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

授業科目	隣接医学			担当教員	久田貴幸
				実務経験	☒ 有 ☐ 無
授業形態	講義	単位数	2単位	開講時期	3学年前期
経歴・役職	2018年～長崎国際大学 講師 特別養護老人ホームにおける介護福祉士としての実践経験と介護施設及び居宅における介護支援専門員としてのケアマネジメントの実践経験をもとに講義を行う。				
授業目標					
介護保険制度を理解し、尊厳を支える介護が理解でき、要支援・要介護者が認定するまでの流れや、必要な介護サービスの種類・利用要件等の一連の流れを理解することができる。					
成績評価の方法					
定期テスト70%、授業態度30%を統合して評価する。					
教科書と参考文献					
参考文献 「国民の福祉と介護の動向」一般社団法人 厚生労働統計協会 2017年 「介護保険制度の概要」厚生労働省、2018年					
履修上の注意					
No.	授業題目・授業概要				
1	介護保険制度の概要 介護保険の概要、申請の流れ、介護サービスの種類についてを理解する。				
2	ケアプランに基づいた介護計画が理解できる。(第1. 2. 3表) 担当者会議を通して、計画の修正に気付くことができ、歯科衛生士として他職種との関りを深めることができる。				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

授業科目	隣接医学			担当教員	久田貴幸
				実務経験	有・無
授業形態	実習	単位数	2単位	開講時期	3学年前期
経歴・役職	2018年～長崎国際大学 講師 特別養護老人ホームにおける介護福祉士としての実践経験と介護施設及び居宅における介護支援専門員としてのケアマネジメントの実践経験をもとに講義を行う。				
授業目標					
本演習では、介護を必要とする人々がどのような状態であっても、尊厳の保持の観点を把握しながら、専門職としての必要な「知識」「技術」を習得し、実社会での実践に役立たせることができる。					
成績評価の方法					
定期テスト70%、授業態度30%を統合して評価する。					
教科書と参考文献					
利用者にも介助者にも安心・快適な介護技術(DVD) 「最新 介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ」中央法規					
履修上の注意					
No.	授業題目・授業概要				
1	自立に向けた介護支援技術 自立支援や自己実現の基礎である食事、移動、移乗、排泄技術についての理解ができる。				
2	自立に向けた介護支援技術(DVD使用) 自立支援に向けた演習を行い実施ができる。				
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

授業科目	隣接医学(口腔ケア実習)			担当教員	山口 方子
				実務経験	有
授業形態	実習	単位数	2単位	開講時期	3学年前期
経歴・役職	長崎県歯科衛生士会 元副会長 ・一般歯科医院を経て訪問歯科、療養型医療施設、介護老人施設に勤務。 ・一般歯科医院より介護老人施設等へ訪問にて口腔ケア専門で勤務。 高齢者教室での「お口の健康」講話や地域包括センターケア会議で高齢者、障害者について指導を行った経験を活かし、口腔ケア実習を行う。				
授 業 目 標					
口腔ケアの意義を理解する。 口腔内状態にあった口腔ケアの手技を習得する。					
成 績 評 価 の 方 法					
実技評価 ・ 講義態度					
教科書と参考文献					
各回毎にプリント配布					
履 修 上 の 注 意					
実習室における集中力を高め、口腔ケアの手技習得に努めること。					
授 業 題 目 ・ 授 業 概 要					
1	臨床における口腔ケアの実際を理解する。 ・急性期、維持期、終末期における口腔ケア ・(口腔ケアの手技)				
2	摂食困難者への食事形態と介助方法				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

授業科目	接遇作法Ⅲ			担当教員	峰下 和子
				実務経験	有・無
授業形態	講義・演習	単位数	1単位	開講時期	3学年 前期
経歴・役職	民放アナウンサー(テレビ長崎)ニュースキャスター(長崎国際テレビ)での経験を活かし、新人アナウンサーの指導をはじめ、民間企業での話し言葉遣いの指導研修を行う。				
社会人として、歯科衛生士として身につけてほしいマナーを講義。 (身だしなみ、立ち居振る舞い、言葉遣い、会話力、電話の応対など) 講義だけではなく、ふんだんにロールプレイを行い、なぜ接遇作法が必要なのかなども考えていく。					
成績評価の方法					
試験 50% ロールプレイ30% 授業態度 20%					
独自の資料を準備					
履修上の注意					
明るく楽しく熱心に取り組んでほしい。 ペアや、グループで考え行動することが多くなる。					
No.	授業題目・授業概要				
1	相手に「好感」を持ってもらうために、自分の魅力を知る⇒第一印象チェック 身だしなみ、立ち居振る舞い、挨拶の基本を身につける。ロールプレイで練習。				
2	敬語① 基本的な敬語の練習(丁寧語・謙譲語・尊敬語)				
3	敬語② 応用編(敬語を使えるようになりましょう。練習問題)				
4	会話① 会話の基本(聞き上手のテクニックを知る。話してみる、聞いてみる。)				
5	会話②(先を読む会話)				
6	会話③(指示の受け方、報告の仕方。報告連絡相談)				
7	電話の応対① 電話の基本(かけ方、受け方) ロールプレイで実習				
8					
9					
10					

授業科目	摂食機能・口腔機能訓練 II			担当教員	久松徳子
				実務経験	有
授業形態	講義・実習	単位数	1単位	開講時期	3学年前期
経歴・役職	歯科医師 歯学博士 長崎大学病院 医療教育開発センター・総合歯科臨床教育学 特殊 歯科総合治療部 大学病院にて歯科医師として勤務。臨床現場の経験をもとに講義・実習にあたる。				
授 業 目 標					
摂食嚥下リハビリテーションにおける訓練の手技や食事指導等々、実践的手技の修得を目標とする。					
成 績 評 価 の 方 法					
定期試験で評価する。					
教科書と参考文献					
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 医歯薬出版 動画でわかる 摂食・嚥下リハビリテーション 中山書店					
履 修 上 の 注 意					
不明点はいつでも質問すること。					
授 業 題 目 ・ 授 業 概 要					
1	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習① リハビリテーション				
2	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習② 摂食嚥下リハビリテーション				
3	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習③ 口腔管理・制度				
4	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習④ 摂食嚥下機能のメカニズム				
5	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習⑤ 咬合・咀嚼				
6	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習⑥ 栄養管理				
7	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習⑦ リスクマネジメント				
8	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習⑧ 病態別摂食嚥下障害				
9	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習⑨ 接触嚥下機能の評価				
10	摂食嚥下リハビリテーション 講義・実習⑩ 口腔衛生管理・訓練 訓練実習				